

子どもの症状を見るポイント

❖ 子ども一人一人の元気な時の「平熱」を知っておくことが症状の変化に気づくめやすになります ❖

【顔・表情】

- 顔色がいつもと違う
- 表情がぼんやりしている
- 目の動きに元気がない
- 視線が合わない
- 目つきがおかしい
- 無表情である

【耳】

- 痛がる
- 耳だれがある
- 耳をさわる

【胸】

- 呼吸が苦しそう
- ゼーゼーする
- 胸がへこむ

【睡眠】

- 泣いて目がさめる
- 目覚めが悪く機嫌が悪い

【食欲】

- 普段より食欲がない

【尿】

- 回数、量、色の濃さ、においがいつもと違う
- 血尿が出る

【目】

- 目やにがある
- 目が赤い
- まぶたが腫れぼったい
- まぶしがる

【鼻】

- 鼻水がでる
- 鼻つまりがある
- 小鼻がピクピクしている
(鼻翼呼吸)

【口】

- 唇の色が悪い
(紫色(チアノーゼ))
- 口の中が痛い
- 舌がいちごの様に赤い

【のど】

- 痛がる
- 赤くなっている
- 声がかれている
- 咳がでる

【お腹】

- 張っていてさわると痛がる
- 股の付け根が腫れている

【便】

- 回数、量、色の濃さ、におい、がいつもとちがう
- 下痢、便秘
- 血便が出る
- 白色便が出る



「いつもと違う！」こんな時は、
子どもからのサインです！

- ◎ 親から離れず機嫌が悪い(くずる)
- ◎ 睡眠中に泣いて目が覚める
- ◎ 元気がなく顔色が悪い
- ◎ きっかけがないのに吐いた
- ◎ 便がゆるい
- ◎ 普段より食欲がない

※ 正常呼吸数、脈拍数(1分あたり)

- ・乳児 30~40回 120~140回
- ・幼児 20~30回 80~120回

★ 呼吸は、安静にしている乳幼児の胸やお腹の動き、口や鼻から吐き出される息の様子を観察しながら測定しましょう。

今までなかった発しんに気がいたら

- ◎ 他の子どもたちとは別室へ移しましょう
- ◎ 発しん以外の症状はないか、発しんが時間とともに増えていないか、などの観察をしましょう
- ◎ クラスや兄弟姉妹、一緒に遊んだ子どもの中に、感染症が疑われる症状がみられる子どもがいないか、確認しましょう